

愛知県子ども・子育て会議の審議状況

平成 25 年第 1 回 平成 25 年 8 月 22 日開催

<p>【審議事項】</p> <p>1 「あいち はぐみんプラン」の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 愛知県の少子化の状況について説明。 ○ 重点チェック項目を中心とした、H24 年度の「あいち はぐみんプラン」の取組状況について説明、意見聴取。 <p>2 愛知県子ども・子育て支援事業支援計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども・子育て支援新制度の内容について説明。 ○ 子ども・子育て支援事業支援計画と次期「はぐみんプラン」の関係について説明。 <p>3 少子化に関する県民意識調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化に関する県民意識調査の目的、調査項目設定の考え方を説明の上、調査(案)を提示し、調査項目について検討。
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民意識調査について、これから結婚したい方や子どもがいない方にも調査するのはとても良い。 ・女性が仕事を辞める理由として、マタニティハラスメントなどの視点も加えてはどうか。 ・里親やひとり親にも配慮した表現としてはどうか。
<p>【結果等】</p> <p>進捗状況について了承。</p> <p>県民意識調査については、さらに委員の意見を聴取し、内容を再検討の上、実施する。</p>

平成 25 年第 2 回 平成 26 年 3 月 24 日開催

<p>【審議事項】</p> <p>1 少子化に関する県民意識調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民意識調査の結果について説明。 <p>2 愛知県子ども・子育て支援事業支援計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区域設定の考え方を説明、意見聴取。 <p>3 「あいち はぐみんプラン」の次期計画について</p> <p>4 国の子ども・子育て会議の状況について</p> <p>5 幼保連携型認定こども園の認可基準について</p>
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握については、居住地だけでなく親がどこで働いているかという視点も参考にするべきではないか。 ・確保策を考える上では、ワークライフバランスの観点から、住まいと職場、保育所の近接という視点も大切になってくる。 ・調査結果はわかりやすく、問題点を認識することができた。広く展開し、問題提起するツールとして活用するとよいのではないか。

【結果等】

区域設定については、他都道府県の状況や、市町村の区域設定の意向、広域利用の状況などを加味しながら今後検討。

「あいち はぐみんプラン」については、引き続き意見交換を実施。
幼保連携型認定こども園の基準については、次回会議で検討。

平成 26 年第 1 回 平成 26 年 6 月 2 日開催

<p>【審議事項】</p> <p>1 「あいち はぐみんプラン」の次期計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点チェック項目を中心とした、H25 年度の「あいち はぐみんプラン」の取組状況について説明、意見聴取。 ○ 次期はぐみんプランの計画の位置づけ、体系について説明し、重点目標と基本施策の項目について検討。 →あいち はぐみんプラン、子ども・子育て支援事業支援計画、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく計画、愛知県子どもを虐待から守る条例に基づく計画を一体的に策定 <p>2 幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 条例の考え方について説明。
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部環境により変化せざるをえない指標や、取組と施策効果とが少し遠い指標なども見受けられるので、次期計画の指標では、そういった視点も加えて考えてほしい。 ・関連する他の計画と一緒に策定するのは効果的。実効性を図るために、ガイドラインのような具体的なものを作ってもよいのでは。 ・妊娠期からの支援は重要。 ・学校教育の充実は、幅広く盛り込んでほしい。また、配慮を要する子、ひとり親、外国人の子どもへの支援も重要である。 ・若者の働く意識やワークライフバランスに対する意識は人によって差があるため、学校教育で意識の醸成を盛り込んではどうか。 ・家庭的養護も大切にするという視点がほしい。
<p>【結果等】</p> <p>次期はぐみんプランを少子化対策の総合的な計画と位置づけ、3 計画を一体的に策定することについて了承。</p> <p>幼保連携型認定こども園の基準について、県の独自基準について了承。</p> <p>体系については、意見を踏まえ、引き続き検討。</p>